

「活版印刷は、いったいどこに向かおうとしているのか？」

～2007年に、それは始まった～

かつての主流であった活版印刷が、今再び脚光を浴び市民権を得ようとしています。また、若い世代には活版の魅力が新しい表現技術として捉えられ、定着しつつあります。そのひとつのきっかけが、2007年3月にスタートした「活版工房」であり、同年開催された「活版再生展」です。今回は、このきっかけに携わられた方々をゲストにお招きし、活版印刷にかける思いや、活版印刷はこれからどこへ向かい、どのように進化していこうとしているのかをお話いただきます。

■三木弘志（弘陽 主宰／活版工房 講師／活版製版家）



1947年兵庫生まれ、活版印刷所「弘陽」主宰。今では数少なくなった活字での組版、印刷を得意とする活版製版家。ワークショップ「活版工房」の講師でもあり、自らの印刷所を会場として提供している。活版印刷を幅広く使ってもらえ、さまざまな活動を行っており、デザイナーからの信頼も厚い。活版印刷はもちろん、清刷りの依頼等も多い。都立工芸高校の講師も務める。

■高田唯&高田もとのり（オールライト工房）



2007年5月、東京都世田谷で開催された「活版再生展」から生まれた工房。廃棄される予定だった機材一式を譲り受け、生業であるデザインの視点から活版印刷の可能性を日々模索中。「デザインのひきだし」（グラフィック社）にて「活版六尺」を連載中。高田唯…デザイン事務所 ALL RIGHT GRAPHICS 主宰。アートディレクター、デザイナー。オールライト工房では印刷を担当。高田もとのり…工房管理責任者。活版職人見習い。ワークショップも担当。

■東條メリー（活版工房）



高校卒業後、アメリカ西海岸へ留学。シリコンバレーにてグラフィックデザインの基礎を学ぶ。2000年に帰国し、都内のウェブ制作会社に就職。2004年に andantino として独立、2006年に活版工房立ち上げスタッフとして参加。

※その他スペシャルゲスト有（株式会社 中村活字（中村明久）他）

■ナビゲーター：山櫻 コーポレートコミュニケーション部門 広報担当 内田

（ゲスト敬称略） ※都合により出演者が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

日時

2012年6月27日(水)
19:00～20:30 開場18:30

場所

サクラテラス ※下の地図をご覧ください。
墨田区立川3丁目1番7号3階(株式会社 山櫻 墨田オフィス内)

定員

30名 ※定員になり次第締め切りとさせていただきます。

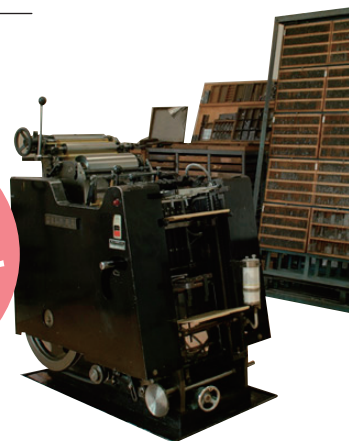
申込

1)お名前 2)所属 3)人数 4)連絡先
を明記の上、メールにてお申し込みください。

メール talk@yamazakura.co.jp

■協力：ワールドフォトプレス ■問い合わせ：サクラテラス TEL:03-5625-0630(代表)

トークショー
参加無料
(要予約)



スペシャルゲスト中村活字さんの
記事が掲載されている
「monoスペシャル『職人モノ』No.5」
は、ワールドフォトプレスより
6月29日(金)発売!

名刺と紙製品の博物館・株式会社 山櫻 ショールーム

SAKURA TERRACE

営業時間 10:00～17:00 / 休館日 土・日・祝

〒130-0023 東京都墨田区立川 3-1-7(株)山櫻 墨田オフィス3階
TEL.03-5625-0630(代)

f <http://www.facebook.com/TERRACE.lab>

※お客様用の駐車場はございません。お車でのご来場はご遠慮ください。

墨田区内循環バスは、南部ルート 錦糸町駅より17分・両国駅より9分です。

